

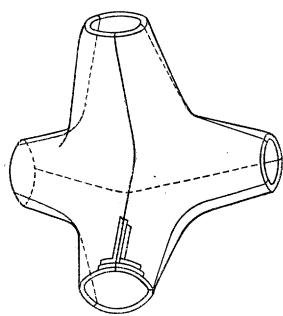
## 特許紹介

### 共通の中心部から発生する4つの凸出部を有する対称的なブロックの製造用型ワク

特許 第 237537 号 (特公 昭 32-6890)

発明者 ピエル・フランソワ・ダネル

近頃問題のテトラボッドの製造用型ワクに関するもので、3つの凸出部をもち、周にフランジと縁とをもつた4つの同じ型の素片からなり、組み立てた場合、脚部の端部はコンクリートの充填口を除いて入れ、底で閉鎖される。各素片は着脱自在、取り替え自在である。

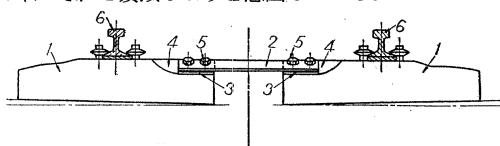


### 連結コンクリート枕木

特公 昭 33-8939

発明者 平丸寅一郎

2本の矩形コンクリート体(1), (1)を間隔をおいて配置し、各コンクリート体の内端上面両側隅に設けた接続斜面(4), (4)に2条の帯板状連結バネ鋼(2)の端部を当てがつて締めつけ固定したもので、2条のバネ鋼板は、向かい合つて八の字を形成する。左右コンクリート体に複雑な衝撃が加わっても、バネ鋼板の特殊配置により、よく、それを吸減しようと意図している。

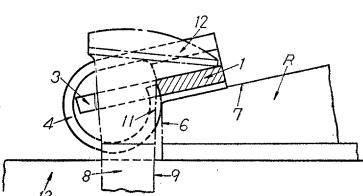


### レールの弾性締結装置用バネ

特公 昭 33-8904

発明者 小林勝索

上部バネ部(1)を中心高の弓形に彎曲し、その一側面両端対称の位置に巻形側部バネ部(4), (4)を突設し、同側面の中央部に犬釘打込み(2)を設けたもので、犬釘頭部下面により上部バネ部を押圧して縦方向の弾力を発生させると同時に犬釘頭部直下の斜面によ



りバネをレールの方に押圧し側部バネ部をレール底側面に押しつけ横方向の弾力をも発生させるようにした。すなわち頭部直下に斜面部(11)を有する犬釘が必要である。

### 掘削方法

特公 昭 33-8936

発明者 角田道造

目的の土地を適当の方法によつて深い細溝で碁盤目に切り、適当に大きさを調節できる底なしのバスケットで一目ずつ順次つかみ、クレーンで抜きとるものである。碁盤目の一目は50~100cm 角を標準とし、深さは大体1mとする。

### 繫船用鉄管ドルフィン

特公 昭 33-8939

発明者 諸角嘉玄・他1名

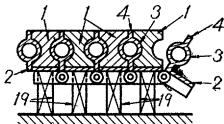
下端開口した鉄管を所要敷地盤に打込み、これら鉄管の上端部にわづかの間隙をもたせて上部結構を遊嵌し、これを鉄管に設けたフランジによつて支承させるようにし、鉄管内には所要の中詰を施すもので、必要によつては鉄管の中間高さ部分を互いに鉄骨によつて、連結して一体的にする。すなわち、鉄管群の上部を一体的に剛結しないで、繫船時の衝撃を鉄管相互間において、弾性的に緩衝しようというのが、おもなねらいである。

### プレキャスト部材の製造法

特公 昭 33-7987

発明者 猪股俊司

上、下の突縁が平行な面を有し、腹部が大体半円形に凹んだ両側面を有するコンクリート桁材(1)の製作法であつて、その型ワクは、ヒンデを有する底板(2)、チューブ(3)、縦材(4)、および端板(2)で主として構成されている。この型ワクによつて多数同時に作ることができ、完成桁の除去は底板をヒンデ点で反転することにより行なう。なお、桁に配置された鋼線には端板を利用して張力が加えられ、桁はプレストレスされる。



### コンクリートブロック成形装置

特公 昭 33-8193

発明者 平岡国三

下型(2)に下部を嵌合した筒形の側型(3)の下壁部に固定ピストン(5)に密接するシリンダー部(4)を設け、また側型の上部には内部に注入した生コンクリート(A)を油圧によつて押圧する上型(6)を挿嵌し、上型によつて生コンクリートを押圧し生コンクリートと側型との間

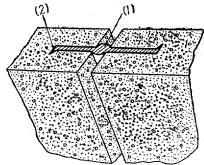
に有害な側面圧が生じたとき側型のシリンダー部(4)に圧油を送入して側型を押上げ、前記側面圧を減殺するようにしたもので、このようにして生コンクリートの圧搾効果を高め均質なブロックを成形しようとしている。図示のものではシリンダー部(4)への送油はシリンダー(7)内の油圧が一定値に達したとき弁桿(13)が押上げられて管(16), 通路(11)を経て行なわれる。

### アスファルト系ビチューメンを主体とするコンクリート用水密伸縮接合鉗

特公 昭 33-8537

発明者 山田憲二・他1名

中央部に凸部(1)を設け一端を爪状(2)に折曲げた金属鉗にアスファルト系ビチューメン塗料を塗布し、これを図面に示すように相対して抱合



橋  
梁  
鐵  
塔  
水  
骨  
水  
壓  
車  
土  
木  
門  
管  
建  
築



熊本県代継橋(箱桁)

## 新三菱重工業株式会社

本社原動機部 東京都千代田区丸の内2の14

神戸造船所 神戸市兵庫区和田崎町3

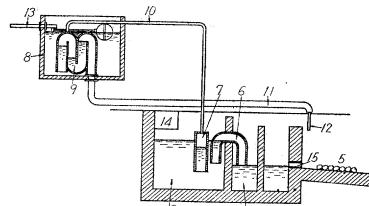
わせ、その間にアスファルトビチューメンのパテを填充して帯状に一体化したものである。

### 汚水処理装置における自働灌注装置

特公 昭 33-8942

発明者 花川清治

第1調整槽(3)に、第2調整槽(4)に跨るサイフォン管(6)と、下向きに開口するエヤータンク(7)とを配置し、エヤータンクの上部と高所の灌注水槽(8)内に設けた二重サイフォン管(9)の上部とをエヤーパイプ(10)で連絡し、二重サイフォン管の一端に、連絡する注水管(11)の他端を酸化槽(5)の上方に開口させ、かつ前記灌注水槽には給水管(13)より供給する水を一定水位に保つ装置を設けたもので、酸化槽へ自働的に灌注水するようにした。



(特許庁審査第二部 染谷 広司)

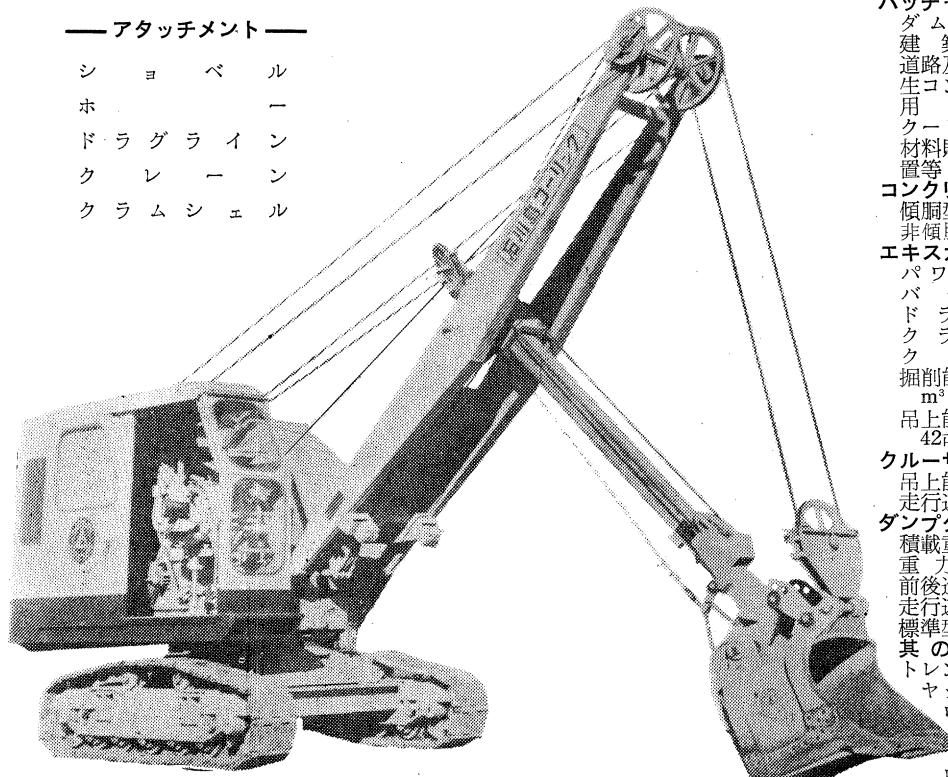
土木建設工事に活躍する...

# コーソンクの パワーショベル 205型(0.5m<sup>3</sup>)

本機は極めて容易にアタッチメントを替えることに依つて各種の作業に使用出来ます。

## —アタッチメント—

ショベル  
ホーク  
ドラグライン  
クレーン  
クラムシェル



## 主要営業品目

バッチャープラント  
ダム建設工事用  
建築工事用  
道路及び港湾工事用  
生コンクリート工場用  
(附隨設備)  
クリーニングプラント  
材料貯蔵及び輸送装置等

コンクリートミキサー  
傾胴型 28.56.112切  
非傾胴型 16.21切

エクスカベーター  
パワーショベル  
バッカホーンル  
ドラグムーム  
クレムー  
掘削能力 0.4~0.5  
m<sup>3</sup>, 1.2m<sup>3</sup>, 2.0m<sup>3</sup>  
吊上能力 9屯, 28屯,  
42屯

クルーザークレーン  
吊上能力 13.5屯  
走行速度 27 km/h

ダンプター  
積載重量 7.5屯  
重力ダンプ式  
前後進共 3段変速  
走行速度 27 km/h  
標準型 反転座席型  
其の他  
トレーラードジ  
ヤック・ペーパー<sup>ー</sup>  
ロードフィニッ  
シャー

ロードローラー<sup>ー</sup>  
コンパクター等



# 石川島コーリング株式會社

営業所 東京都中央区日本橋通3-2(広瀬ビル)TEL(27)5675-7  
大阪・九州・北海道・仙台・名古屋・広島